

一年を振り返って

区長部 一年を振り返って

区長部長 藤澤 幸雄

令和6年度は「第三次若槻まちづくり計画」の2年目で、目標である「住んでみたいまち、住んで良かったまち 若槻」をめざし活動に取り組んできました。この一年の主な活動について振り返ります。

1. 「ご近所支え合い運動」の取り組み

災害時に限らず、身近な火災・事故の発生時に近所で緊急連絡や共助ができる仕組みを構築しようとするものです。特に避難行動要支援者については民生児童委員の協力を得て、要支援者の抽出、支援者の選定や避難計画の作成などを進めてきました。区によって進捗に差はありますが今後も継続して取り組んでいかなければなりません。

2. 第7回若槻総フェスタの開催

11月16日(土)、好天にも恵まれ若槻コミュニティセンターにて1,000名を超える皆様にご参加いただき盛況に開催されました。清泉女学院大学・短期大学学生や北部中学校生徒の皆さんにはボランティアとしてお手伝いいただきました。

3. 「ようこそ市長室へ」

8月19日(月) 長野市役所を訪問し、荻原市長に若槻コミュニティセンターの建替えと稲田児童クラブの子ども財団への移行について直接要望を伝えました。直

若槻地区の生活環境の向上と地域の支え合いを推進し、より良い若槻にしていきたいと思えます。今後も皆様のご参加、ご協力をよろしくお願いいたします。

ぐに実現はしませんが、今後も機会をみて働きかけていきます。

4. 区長部視察研修

11月21日(木) 区長、副区長などで「豊野防災交流センター」と「クリーンピア千曲」の視察を行いました。若槻コミュニティセンターの将来の建替えにあたり参考になる視察でした。



倒壊家屋からの救出訓練

5. 浅川地区住民自治協議会との情報交換会

1月31日(金) 両地区計18名が出席し、小規模な区の運営や中山間地の公共交通など共通する課題について意見交換しました。

6. 防災部会

防災訓練・防災研修の実施や災害対策本部設置訓練・情報伝達訓練の実施、災害対策本部運営マニュアルの改正を行いました。

生活安全部 生活安全部の本年度を振り返って

生活安全部長 玉井 良明

令和6年度は、感染症に留意しながら事業を進めてまいりました。

生活安全部は、防犯部会と交通安全部会の二部会の活動を通して、若槻地区の子供たちと高齢者が安心して生活を送れる地域を目指しています。

本年度、長野県内における特殊詐欺の被害状況は、発生件数365件、被害総額27億円で過去最高を更新しました。また、若槻地区の田中の交差点で8月に交通事故が発生し、70代の女性が亡くなりました。11月には、道路交通法が改正され自転車運転の罰則が強化されました。

【防犯部会事業として】

1. 子供見守りパトロール (毎月第4水曜日)

小学校の通学路の主要な交差点に立ち、安全を見守る事業

2. 車で見守りパトロール (毎月第1水曜日)

青バトで、下校する通学路の危険箇所巡回

3. 青少年地域定期パトロール (毎月第3月曜日)

地域内の店舗・遊戯施設などの巡回

4. 防犯パトロール

各地区毎に、従来の防犯パトロールを踏襲して実施
以上の四つのパトロール事業を中心に行ってまいりました。

【交通安全部会事業として】

1. 市道への白線塗布 (4~5月)

スプレー方式により、市道への停止線等に白線塗布する事業

2. 交通安全・防犯教室 (6月)

本年は4年ぶりに実施
高齢者の交通事故、特殊詐欺防止のために行なう事業

3. 児童への街頭指導 (4・9月)

各地区毎に児童の安全な通学を見守る事業

4. 自転車運転の指導

交通安全・防犯教室の中で自転車運転等の指導
以上の四つの事業を行ってまいりました。

これからも、若槻地区の子供たち・高齢者を交通事故・特殊詐欺など防止の立場から、安心・安全な暮らしをしていける地域にするために、今後ともコミわか事業にご支援とご協力をお願いいたします。



子ども見守りパトロール